

7 母 子 保 健

鶴岡市の0～14歳人口(年少人口)は令和5年3月31日現在12,589人で総人口に占める割合は10.5%であり、出生数は減少傾向が進んでいます。

少子化に加え、乳幼児をとりまく環境は、女性の職場進出、核家族の増加、価値観の多様化など時代と共に大きく変化しており、更には乳幼児虐待など社会的にも問題が大きくなっており、子どもを健やかに育む環境整備が必要となっています。

母子保健法に基づき、母性の健康増進とすべての子どもが健やかに生まれ尊重かつ保護され、健全な成長発達と健康増進を図るために、次の施策を行います。

(1) 乳幼児健康診査・健康教育事業 (令和5年度予算額9,213千円)

① 乳幼児健康診査・健康相談事業

乳幼児の健康増進を図るために、健康診査を実施しています。

健診では、我が子を客観的に観察することができるよう援助し母親の育児不安軽減と育児交流の場としても位置付けています。

・乳幼児健康診査・7か月児健康相談実施状況(令和4年度)

	受診児 総数 (人)	受診率 (%)	指導区別実人員(人)				
			問題なし	要指導	要観察	要精密 健診	要治療・ 治療中
4か月児健診	618	96.1	452	9	41	35	81
1歳6か月児健診	733	99.1	488	12	109	25	99
3歳児健診	777	99.0	373	23	121	151	109
7か月児健康相談	640	97.4	392	9	37	34	168

※7か月児健康診査は令和3年度から7か月児健康相談に変更しています。

※虐待未然防止の観点から未受診者への受診勧奨を強化しています。

※令和4年度から3歳児健診時に屈折検査を導入し、弱視の早期発見に努めています。

※3歳児健診では、尿・視力・聴力検査に屈折検査が加わったため、より要精密健康診査数が多くなっています。

② 保健指導事業

子どもの成長、発達、栄養、育児への不安等子育て全般について、相談や保健指導を行っています。

・乳幼児健康相談実施状況

	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
定期育児相談	548	3,899	610	5,211	533	3,681	518	3,272	574	3,472
不定期育児相談	-	834	-	467	-	731	-	842	-	546
電話相談	2,488		2,317		2,056		2,100		2,279	

※定期育児相談は各コミュニティセンターや地域庁舎で定期的の実施しています。(健康すこやか相談窓口も含む)

③ 地域組織育成事業

母親同士の交流と、子ども達の遊びの「3つの間」(空間・仲間・時間)づくりを、また地区によっては異世代との交流と場づくりを目的に、学区・地域単位に子育てサークルの自主活動の支援を行っています。サークル活動は、コミュニティセンターや地域公民館等を会場に定期開催され、育児相談も同時開催となっています。

・子育てサークルと育児相談会(令和5年度)

場 所	サークル名	日 時	育児相談日時
第一コミセン	キラキラ星	概ね第2金曜日午前	概ね第2金曜日午前
第二コミセン	ヨチヨチ探検隊	第2又は第3月曜日午前	第2又は第3月曜日午前
第三コミセン	チロリン村	第3火曜日午前	第3火曜日午前
第四コミセン	おもちゃ箱	第3火曜日午前	第3火曜日午前
第五コミセン	てるてるぼうず	概ね第3月曜日午前	概ね第3月曜日午前
第六コミセン	コアラのマーチ	概ね第1木曜日午前	概ね第1木曜日午前
斎コミセン	のびのびクラブ	第2金曜日午前	第2金曜日午前
黄金コミセン	なかよしランド	概ね第2木曜日午前	概ね第2木曜日午前
湯田川コミセン	たけのこ	第3木曜日午前	第3木曜日午前
農村センター(大泉)	ミッキーのおうち	第3水曜日午前	第3水曜日午前
京田コミセン	ひよっこ広場	概ね第3木曜日午前	概ね第3木曜日午前
栄子育て支援室 なかよしルーム	栄あそぼう会	概ね第3金曜日午前	概ね第3金曜日午前
田川コミセン	-	-	第2火曜日午前
上郷コミセン	未来っ子クラブ	第3水曜日午前	第3水曜日午前
三瀬コミセン	わいわいクラブ	概ね第4火曜日午前	概ね第4火曜日午前
由良コミセン	はまっ子広場	第1火曜日午前	第1火曜日午前
小堅コミセン	ピヨピヨクラブ	第3木曜日午前	第3木曜日午前
加茂コミセン	-	-	奇数月概ね第2月曜日午前
湯野浜コスパ	ちんちん電車	概ね第2木曜日午前	概ね第2木曜日午前
大山コミセン	大山よこワイワイルーム	概ね第1水曜日午前	概ね第1水曜日午前
西郷農林活性化センター	つみきクラブ	第4水曜日午前	第4水曜日午前
藤島地域	藤島ふれあいセンター	サークルがやがや	第1火曜日午前
	長沼地域活動センター		-
	東栄地域活動センター		-
	渡前地域活動センター		-
		不定期(偶数月)	

場 所		サークル名	日 時	育児相談日時
羽黒地域	羽黒老人福祉センター	はぐるっこ広場	月 4 回 場所・日時不定期	概ね第 3 月曜日午前
	第 4 地区地域活動センター			-
	広瀬地区地域活動センター			-
	手向地区地域活動センター			-
	羽黒コミセン			-
榎弓すこやかセンター (榎引地域)		あそぼう会	金曜日午前	奇数月第 2 木曜日午前
健康の里 ふっくら (朝日地域)		びよびよ広場 (1 歳未満)	毎月第 3 木曜日	毎月第 3 木曜日
		あそびの会 (1 歳以上)	木曜日午前	-
あつみ子育て支援センター (温海地域)		-	-	奇数月第 3 水曜日午前

④ 健康教育事業

子どもの成長・発達や育児について、個別的・集団的に指導助言を行い、地域への普及を図っています。

(ア) 食育指導と育児教室実施状況

離乳食指導は、4 か月児、7 か月児の各健診・相談時に実施しています。令和 4 年度から集団型の食育教育である「ベビーキッチン」から、個別相談型の「離乳食相談」へ変更しています。

		30 年度		元年度		2 年度		3 年度		4 年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
食育	離乳食指導	48	1,539	48	1,406	48	1,445	48	1,311	48	1,258
	ベビーキッチン R4～離乳食相談	4	82	4	104	3	33	2	3	9	15
	食育教室	9	182	5	164	1	14	1	1	0	0
育児 教室	育児サークル支援	83	408	76	424	2	16	8	2	2	18
	子育て支援	48	737	73	548	5	141	0	5	2	11

(イ) 思春期教育

思春期における心と体の変化を知り、豊かな人間性と社会性を持ち、正しい知識と行動により将来待ち望んだ妊娠が迎えられるように講義と実技体験（赤ちゃん抱っこ・妊婦体験）等を、他機関との連携を図りながら行っています。

赤ちゃんふれあい体験（中央児童館主催）は、令和 2 年度より新型コロナウイルス感染症感染防止対策により中止、令和 4 年度は事業内容の見直しにより中止、令和 5 年度以降は本事業廃止となりました。健康課では、すこやかネット出前子育て懇談会等で、周知啓発を継続していきます。

30 年度		元年度		2 年度		3 年度		4 年度	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
7	205	5	130	3	67	1	28	1	32

(ウ) 歯科健康教育実施状況

対 象	事 業 名	30 年度		元年度		2 年度		3 年度		4 年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
乳児の 保護者	7 か月児 健康相談	24	763	24	706	24	739	24	634	24	640
幼児及び 保護者	1 歳 6 か月児・ 3 歳児健診	72	1,684	72	1,622	50	1,442	51	1,436	54	1,510
	育児サークル等	10	115	8	128	5	38	6	128	5	41

⑤ 健康支援事業

先天的な障がいや発達障がい等の障がい受容と育児を支援し、適切な療育環境の整備を図り、また一貫した療育支援のため、医療・保健・福祉の連携を図っていきます。

(ア) 言語発達相談（おやこ教室）

乳幼児健診や相談において、ことばの発達やコミュニケーションに課題のある幼児とその家族、育児不安のある母とその子ども等を対象に実施しています。

30 年度		元年度		2 年度		3 年度		4 年度	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
8	実 36 延 50	8	実 41 延 51	8	実 39 延 50	8	実 38 延 50	8	実 26 延 37

(イ) 元気キッズ教室

幼児肥満の増加から生活習慣病の予防を強化します。1歳6か月児、3歳児健診で見られた肥満や低身長幼児を対象に専門医師による健診や生活習慣病の予防に向け、継続的に支援しています。

		30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
回数		4	4	4	4	4
人数	肥満児	実 27 延 33	実 21 延 28	実 21 延 24	実 28 延 30	実 25 延 30
	低身長	実 9 延 10	実 9 延 12	実 11 延 14	実 8 延 9	実 9 延 12

⑥ 療育指導事業

障害児の適正療育を図るために、温海地域親の会活動を拠点に療育経験交流と情報交換及び収集などを行いながら、親の会活動を育成しています。（令和4年度）

・かたつむりの会(療育訓練を必要とする児の親の会) 開催状況<温海地域>

回数	延 人 数	内 容
3	21	情報交換

⑦ 連携推進事業

子育て・療育支援・虐待予防について、保健、福祉、教育等が連携し開催しています。

- ・子育て支援連絡協議会（櫛引地域）

回数	参集者、担当者	内 容
2	保育所（園長）、子育て支援センター（職員） 行政職員（児童福祉担当、教育担当、保健師）	情報交換 ケース会議

- ・子育て支援センター連絡会議（朝日地域）

回数	参集者、担当者	内 容
1	子育て支援センター（職員）、行政職員（保健師）	情報交換 ケース会議

- ・虐待予防連絡会議（温海地域）

回数	参集者、担当者	内 容
3	保育所（園長）、子育て支援センター（所長）、 主任児童委員、行政職員（児童福祉担当、指導主事、 子ども家庭支援センター、保健師）	情報交換 ケース会議

(2) 妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業

（令和5年度予算額 78,998千円）

妊娠期を健やかに過ごし安心して出産に臨めるようにするために、妊婦に対する健康診査を医療機関に委託実施し、妊娠中の健康管理や経済的負担の軽減を図っています。

また、平成30年6月1日に、健康課と子ども家庭支援センターに「子育て世代包括支援センター」を開設しました。健康課では特に妊娠・出産・産後を、子ども家庭支援センターでは子育て期を担当し、連携して切れ目なく支援を行います。

① 健康診査事業

- ・妊婦健康診査受診者数（令和4年度）

実人員		実人員		実人員		実人員	
1回目	596	2回目	621	3回目	626	4回目	625
5回目	622	6回目	613	7回目	610	8回目	601
9回目	580	10回目	569	11回目	533	12回目	434
13回目	313	14回目	165				
超音波 1回目	598	超音波 2回目	631	超音波 3回目	601	超音波 4回目	545
子宮頸がん	585	クラミジア	595	HTLV-1	593		

※平成21年度より初回10,000円、2回目以降5,000円を上限として助成。

※平成28年度より、超音波検査初回5,300円、2～4回目4,770円を上限として助成。

・妊婦健康診査結果状況（令和4年度）

	受診者 実数	指導区分別実人数				異常のある者（疑）			HBs 抗原 陽性 者数	HCV 抗体 陽性 者数
		異常 なし	要経過 観察	要精密 検査	要治療	高血圧・ たん白尿	貧血	高血糖		
1回目	596	399	161	20	16	0	23	29	0	0
4回目(20週頃)	625	359	238	1	27	0	3	0		
8回目(30週頃)	601	285	197	2	117	0	66	4		
12回目(37週頃)	434	225	187	0	22	1	27	1		
子宮頸がん	585	567	5	13	0					
クラミジア	595	585	0	1	9					
HTLV-1	593	593	0	0	0					
超音波	1回目	598	590	6	0	2				
	3回目	601	561	28	0	12				

（注）償還払いによる受診は含まない。（償還払い19件）

（注）高血圧は最高血圧150mmHg、最低血圧90mmHg以上、たん白尿は+以上、貧血はヘモグロビン濃度11g/dℓ未満。

② 母子保健相談支援事業

(ア) 母子健康手帳交付者数

母子健康手帳は、妊産婦と乳幼児の健康管理と健康診査の結果や発育の記録のために必要な項目を記録するものです。外国人の妊婦に対し、外国語版も準備しています。

	交付数	日本語版	ハングル版	英語版	中国語版	その他
30年度	713	709	0	4	0	0
元年度	705	702	0	1	1	1
2年度	685	685	0	0	0	0
3年度	654	648	0	1	1	4
4年度	613	613	0	0	0	0

※双子以上はそれぞれに計上。

※令和4年度に母子健康手帳を交付した外国人妊婦は、日本語版で対応可能で外国語版母子健康手帳の交付が必要なかったため、外国語版母子手帳交付数は0となっています。

(イ) 母子保健コーディネーター活動実施状況

妊娠・出産・育児について、相談・助言を行っています。

	相談者数	訪問・面談者数	電話(回)	連携・調整(回)
30年度	774	実 49 延 74	308	323
元年度	716	実 47 延 107	274	277
2年度	609	実 34 延 107	193	235
3年度	517	実 30 延 73	175	163
4年度	566	実 52 延 96	224	246

(ウ) 妊産婦サポート事業

支援が必要な妊婦に、妊娠期から家庭訪問や面談で保健指導を実施することにより、母性・父性や子どもへの愛着形成を育み、妊娠・出産・子育てへの不安軽減を図ります。

	実人数	訪問・面談(延)	電話での支援者数
30年度	22	75	実14 延29
元年度	21	71	実17 延28
2年度	13	52	実13 延47
3年度	20	46	実12 延43
4年度	11	32	実12 延58

(エ) 産後母子ケア事業「ほっとママルーム」

支援が必要な産婦に、産科医療機関等において、心身のケアと情緒的サポート及び育児支援とともに、乳児のケアを行うことにより、負担軽減と不安の解消を図ります。

	日帰り型		宿泊型		アウトリーチ型	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
30年度	7	19	1	5		
元年度	1	1	4	6		
2年度	2	2(2日間利用)	4	5(16日間利用)		
3年度	3	4(4日間利用)	2	2(4日間利用)		
4年度	4	5(5日間利用)	4	4(7日間利用)	1	1(1日間利用)

(オ) プレママ教室

妊娠、出産、子育てに関する悩みに対して、専門職である保健師、助産師等が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行い、孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、出産、育児に臨むことができるよう支援します。

※平成30年6月から実施

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
回数(回)	9	11	10	10	12
参加妊婦(実人数)	38	54	41	57	64
参加総数(人)	58	149	140	168	194

(カ) 母乳・ミルク相談

産婦の子育ての悩みに対して相談支援を行い、母乳栄養を推進し、乳児が健やかに成長発育できるよう支援するとともに、産婦の子育て不安の軽減を図ります。

	定期相談		随時相談(電話・訪問を含む)	
	実人数	延人数	実人数	延人数
30年度	10	18	48	69
元年度	41	57	27	36
2年度	30	45	29	38
3年度	37	50	31	41
4年度	32	42	30	38

(キ) 養育支援訪問事業（家事支援）

養育支援が必要な家庭に、ヘルパーによる家事等の援助を行うことで、妊産婦の負担を軽減し、適切な養育と安定した日常生活を送ることができるよう支援しています。

	実人数	延回数
4年度	4	18

※令和4年4月より実施。

③ 訪問指導事業

育児経験の不足からくる育児不安の解消と、生命誕生の喜びを確認し、親の育児に対する役割や責任について理解を深めてもらうために、全乳児に訪問指導を行っています。

また、若年、未婚、高齢初産婦などハイリスク妊婦に対しては、妊娠中にも訪問指導を行っています。

	乳児		低出生体重児		幼児		妊産婦		その他	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
30年度	769	873	37	40	80	103	775	917	43	60
元年度	738	823	26	32	59	86	759	848	35	57
2年度	652	738	29	35	41	56	676	786	32	59
3年度	658	731	37	43	33	44	710	798	16	20
4年度	565	639	40	42	31	50	609	719	15	27

④ すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会

(ア) 設置目的

核家族化、少子化の進展、女性の社会進出などの社会構造が変化するなかで、子育てに不安をもつ母親が増え、身近に相談する人がいないなど新しい時代の子育てが問題となっています。すこやかな子どもを生み育てるために関係者が情報を交換しながら連携を密にし、効果的な母子保健活動を推進していきます。

(イ) 設立年月日 平成6年2月16日

(ウ) 令和4年度活動目標「みんなで支え 親子が笑顔で すこやかな子育てを！」

(エ) 活動状況（令和4年度）

- 子育て講演会（オンライン） 令和4年11月12日 会場：出羽庄内国際村
「ピンチはチャンス！！子育ての『困った』を『成長』につなげるコツ」
講師 てい先生 参加者 145人
- 円卓会議（オンライン） 令和5年2月14日
テーマ「コロナ禍のこどもたちの現状について」
～乳幼児期、学童期における現状と課題について～ 委員 15名
話題提供・ディスカッション
- すこやか出前子育て懇談会

実施日	参加者（人）	内容
令和4年6月14日	櫛引東小学校保護者・教職員 35	「メディアについて」
令和4年11月29日	朝日中学校3年生・教職員 32	「命の大切さ」
令和4年12月6日	大山小学校保護者・教職員 25	「メディアについて」
令和4年12月9日	斎小学校5.6年生・保護者・教職員 104	「メディアについて」
令和5年1月30日	あかちゃん広場 28(14組)	「メディアについて」

- すこやかネット通信「親ガメ・子ガメ」
・58号：令和5年3月発行
- 推進委員会 年2回
- 専門部活動
 - ・研修部 円卓会議、子育て講演会の企画、実施
 - ・推進部 すこやか出前子育て懇談会の実施
 - ・編集部 すこやかネット通信の編集・発行、活動のPR 媒体作成

(オ) 委員体制 19人

委員区分

- ①保健所等行政機関の代表者…… 3人
(庄内保健所、小学校・中学校各養護教諭部会)
- ②小児科・産婦人科等関係医師… 2人
- ③地域関係団体代表者…………… 3人
(市立保育園保護者会連絡協議会、市社会福祉協議会)
- ④学識経験者…………… 3人
- ⑤市関係課職員…………… 8人
(子ども家庭支援センター、社会教育課、学校教育課、女性センター、学校給食センター、庄内病院小児科・産婦人科)

⑤ 新生児聴覚検査助成事業

新生児の聴覚障がいを早期に発見し、適切な療育を行うことにより、言語発達等への影響を最小限に抑えることを目的に新生児聴覚検査の費用の一部を助成しています。

	受検者数(人)	償還払い(再掲)件数
4年度	599	21

※令和4年4月より実施。

(3) 特定不妊治療費助成事業

(令和5年度予算額 9,130 千円)

公的保険適用以前の特定不妊治療(体外受精及び顕微授精による治療法)を受ける夫婦に対し、経過措置として実施されている山形県特定不妊治療費助成事業に上乘せをして、費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図っています。

また、令和5年4月より、公的保険適用後の生殖補助医療(体外受精及び顕微授精等の特定不妊治療)を受ける夫婦に対し、治療費自己負担額の一部を助成し、経済的軽減を図っています。

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
助成組数	実72 延106	実73 延123	実88 延147	実114 延185	実67 延82

(4) 出産・子育て応援金事業

(令和5年度予算額 69,066 千円)

核家族化が進み、地域とのつながりが希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭が少なくない状況を踏まえ、妊娠期から出産・子育てまでの身近な伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施します。

※出産応援金(妊娠届出時): 妊婦一人あたり5万円

※子育て応援金(乳児訪問後): 子どもの養育者に子ども一人あたり5万円

	出産応援金給付者数(人)	子育て応援金給付者数(人)
4年度	898	548

※令和5年2月より実施。